

# 視聴覚教育

NO. 288  
発行日 14.12.2  
発行 岡崎市AVL  
編集 現職教育委員会  
学習情報部

## 視聴覚用語

「ドメイン」  
インターネット上に存在するコンピュータやネットワークにつけられる識別子。アルファベットと数字を使ったインターネット上の住所のようなもの。

## 「視聴覚教育あれこれ」 小学校10校に校内LAN導入

市内10校の小学校に校内LANが導入され、運用が始まりました。この10校は、学校インターネット3の研究委嘱28校の中の10校で、校内LANの活用の先駆的な役割を果たすことが期待されています。

## モバイル機器の活用による

### 学習の広がり

学習情報部部长 石原雅充

ミレニアムプロジェクト「教育の情報化」が、岡崎市内でも着実に進んでいる。今年、十月一日からは、市内小学校十校で校内LANの敷設および機器が整い、その活用が始まった。今後、全小中学校に導入される予定であると聞いている。

こうした新しいメディアの投入は、児童生徒の学びの形にも大きな変化をもたらしている。十月に小豆坂小学校で国の「学校インターネット3」の事業に関する研究授業が行われた。二年生の児童が無線LANで結ばれたノートパソコンを使い、それぞれが離れた場所で、学習内容をプレゼンテーションしていた。無線LANとバッテリーの付いたコンパクトなノートパソコン（モバイルパソコン）は、二年生の児童が手に持って移動するのに都合がよく、道具の一つとして抵抗なく利用できていた。また今年度は、小学校のパソコン室の更新が

完了する年でもある。これに伴って各校にデジタルカメラが二十台整備されるが、更新された学校では、学区調べや、社会見学をした後の学習のまとめをしたり、総合的な学習の時間のポートフォリオ作りに利用したりと、幅広い活用が行われていると聞いている。本校（竜南中学校）でも、文化祭で生徒がデジタルビデオカメラを使い、パソコンでビデオ編集を行った。機器が軽く、使い勝手がよくなるなど、モバイル環境が整ったことで、児童生徒自身の手による活用場面が急速に増えてきている。

パソコンはパソコン室だけで利用するものではない。今後は、学校外でも利用する場合が出てくるだろう。次世代のノートパソコンは、まるでノートのようにパソコンの画面にペンで字や絵を書き、デジタルカメラの映像を貼り付けることができるようになるようだ。こういったモバイル機器の利用で、授業のスタイルが着実に増え、教室の壁は取り除かれていく。

新しいメディア環境を活用して、想像性豊かに、授業を構成する力が、私たち教師に求められている。



- 校内LAN導入校
- 羽根小学校
- 竜美丘小学校
- 連尺小学校
- 井田小学校
- 藤川小学校
- 大樹寺小学校
- 大門小学校
- 六ツ美北部小学校
- 上地小学校
- 六ツ美西部小学校
- 導入機器・ソフト
- ・ノートパソコン
- （学級数×2+特別教室等）
- ・液晶プロジェクト（3）
- ・マグネットスクリーン（3）
- ・無線LAN受信機（学級数）
- ・無線LANアクセスポイント（2）
- ・ビデオ出力PCカード一式（PC数）
- ・Microsoft Office XP Professional
- （ワード・エクセル・パワーポイント）
- ・イントラパケッツ2
- （グループウェアソフト）
- ・エデコムマネージャ
- （校務処理システム）

## 「実践報告」

### 小学校中学年における

## 「パワーポイント」の活用

岡崎市立緑丘小学校 浅野 稔

三年生国語科で、グループごとに「お気に入りの場所」を取材し、発表する活動を行った。取材では各グループにデジタルカメラを持たせ、それぞれ、その場所の様子がよく分かるような写真を撮影することができるようにした。発表に向けて、「パワー

ポイント」を使うが、小学校三年生ということを考え、入出力画面に「ドクターシンブラー」ジュニアモードを使った。子供たちにとつて、「パワーポイント」へ映像を取り込む操作や文字の入力も、「ドクターシンブラー」の活用により、平易に行え、意欲的に取材や発表の準備に取り組むことができた。



また、じっくり見せたい映像については、画像送信システムを活用して、児童用パソコンに表示して、鮮明な画像をもとに学習を進めることができた。授業後の感想の中にも、「いつもより写真がはつきり見られて、発表がわかりやすかった」という意見が多かった。

総合的な学習の時間をはじめ、自分たちで取材し、発表するというプレゼンテーション学習の機会が増えてきた。これからもデジタルカメラとパソコンを組み合わせた授業の取り組みを進めていきたい。

## 「レッツ・トライ」

### 自動車工業の学習で

学校のコンピュータは、ほとんど整備されていき、授業の中でコンピュータを利用する場面も多くなってきた。インターネットでいろいろなることを調べたりすることも、そのひとつである。最近では、分かりやすく作ってある子供対象のホームページも多い。

そこで、今回紹介するのは、社会科の「日本の工業」の「自動車工業」に関するページ「クルマこどもサイト」である。

その中の「クルマなんでもキッズ・ツアーズ」には、四つのコーナーがあり、「R&Dファクトリー・ツアー」では、一台の車ができてを、かわいいうキャラクターのナビゲーターがわかりやすく説明してくれる。ベルトコンベアで流れて、少しずつ車



が出来上がっていく様子が見える。また、「こどももしくもコーナー」では、車を作るときの工夫や努力から、材料・販売などについてまで、細かく丁寧な回答が載せられている。

自動車工場見学の前学習や見学のまとめの際に、活用できるページである。

《<http://www.toyota.co.jp/company/kids/>》

(学習情報主任 広幡小 濱田 律子)

## ライブフリーだより

### 新規購入機器の紹介

液晶プロジェクター

(三菱VLP X500)

高精度高輝度3700ANS  
イーメンで、明るい会場でも  
はっきりした映像や資料を提示  
できます。また、最大四台まで  
のパソコンをLANケーブルで  
接続できます。



貸し出し希望は、視聴覚ライブフリーにお問  
い合わせください。(電話二三 六七八九)

### 12月10日締め切り、作品募集!

自作視聴覚教材の募集が迫っています。ビデオ・スライド・マルチメディア教材部門を募集中です。詳しくは愛知県自作視聴覚教材コンクール実施要綱を参照ください。

《提出先 岡崎市視聴覚ライブフリー》

多くの作品の応募をお待ちしております。

### 感性を育む親子映画会のお知らせ

12月8日(日)、中央市民センター(上六名三丁目)において親子映画会を開催いたします。

- ・ 歩きだした木馬
- ・ おじゃるまる
- ・ 少年むくはとじゅう物語

のアニメ映画3本を予定しています。

入場無料。午前10時と午後1時30分の二回、上映いたします。ぜひご覧ください。